

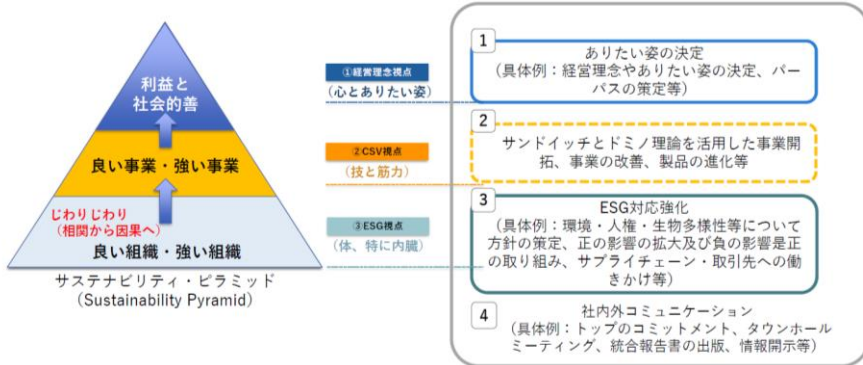
企業各社が考える「2040年の理想的な社会」に向けて、バリューチェーン分析や行動計画について議論し、SDGsブランディングについて考えていただきました。

◆第2回ワークショップ^① (2022年11月7日)

●講演：田瀬代表「SDGsブランディング」

SDGsブランディングは、単なるプロモーションに終わるのではなく、**どのような企業でありたいか、認識されたいか、将来の社会にどのような貢献したいか**といった**意志を明確にし、一貫した**取組や発信をいち早く行なっていくこと。

SDGsやESGへの取り組みはまさに統合思考に沿うものであり、企業のブランディングを加速させることが可能である



出所：田瀬代表の資料を元に作成



意見交換の様子 (場所：熊本県庁会議室)

◆各社が考える「2040年の理想的な社会」と「役割」

※ワークショップを行う上で、各社が検討し発表したもので、必ずしも公式に定義したものではありません

企業名	2040年の理想的な社会	各社の役割
(株)オジック テクノロジーズ	No one will be left behindが実現され、〇〇難民が存在せず、人々が自分らしくよく生きる社会	働きやすい職場を整備し、社会に役に立つ製品/サービスを提供する
熊本利水工業 (株)	平和で様々な環境問題を克服した社会	仕事を通して、若手人材の育成と環境に配慮した会社
金剛(株)	誰もが生き生きと働き学べる社会	時代に沿った価値観で、必要とされるものを生み出す
白川電機(株) 熊本製作所	貧富格差や不平等に起因する紛争の無い社会	弊社を手本・見本として参考にされ続ける会社でありたい
(株)富坂建設	安全かつ強靱な社会で経済的文化的価値を向上することが持続可能な社会	安心安全かつデザインの可能性をもつRC造を普及することで、社会活動を継続させる基盤を構築するとともに、文化的価値向上の可能性をつくる
野田市グループ	だれもが可能性を信じ未来を創造することのできる社会	連携の力で事業や社員の可能性を引き出し、お客様の課題を解決する役割を担っていきたい
(株)ビッグバイオ	地球環境が良く、人の倫理観も高く、エネルギー不足や食料自給率などの不安を解決し、人が安心して暮らせる社会	①食料自給率を向上させること ②子供たちが外で遊べるように、環境汚染のない社会をつくること ③自然の力を用いた新エネルギーの開発 ④環境汚染に対する意識を持ってもらうための教育活動を行っていく
不二高圧 コンクリート(株)	気候変動や環境破壊を最小限にし、様々な生物・植物と共存できる持続可能で豊かな社会	理想的な社会を構築する為に必要とされる企業。また地域に必要とされ、ダイバーシティを実現した企業
(株)プレシード	差別がなく、個人が平等に評価される、努力が報われる社会	イノベーションを通して新たな価値を創造し、人材育成と地域社会の発展に貢献できる会社
(株)ユニバーサリー	地球温暖化の回避策の確立、廃棄プラスチック処理解決、食料自給率の改善	具体的に行動し、その実現に貢献する